



学校生活が再開しました

【6月2日 坪井扶司夫校長先生の講話 テレビ放送】

おはようございます。皆さん元気ですか。4月の入学式から1週間の学校生活後、2ヶ月弱の長い臨時休業が続きました。そして昨日、感染防止の対策をとりながらも、ようやく全校が集まり、通常通りの日課での生活が再び動き出すことができました。

二つのことを話します。一つ目は非日常だったからこそ思えたこと、二つ目は部活動のことです。

まず一つ目です。この臨時休業期間中にいろいろなことがありましたが、その中で、一人で家に居て、この先どうなっていくのかと不安な気持ちで過ごした日々が、一番多かったのではないかと思います。特に1年生は一週間しか中学校に来ていない中でしたね。臨時休業を始め、そうした不安定な状況、不安な気持ちにさせたことを校長として本当に申し訳なく思います。すみませんでした。

この臨時休業期間中、一日おきのクラス半数ずつの登校時等に皆さんが抱いた思いに触れ、こうした普通ではない状況の中だからこそ一層思いを深くしたことや改めて感じた思い、例えば友やクラスへの思い、自分から学んでいくことの大切さ等が、教室黑板へのA班とB班とのやりとりを始めとして、学級通信に記されていました。いくつか紹介します。～中略～

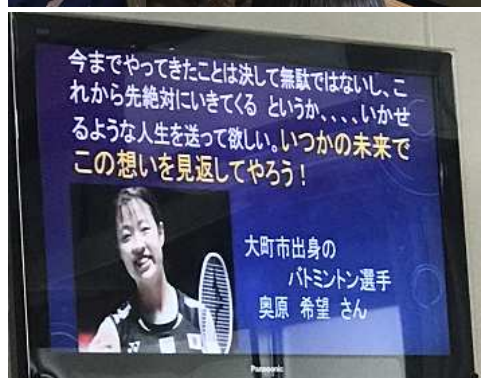
いずれも皆さんや先生方の思いや願いが伝わってきますね。非日常の生活を経験しなくてはならない状況の中だからこそ、気づくことができたことでもあります。まさしく人生そのものです。今回の非日常で気づいたこと「自分から学んでいくことや友だちの大切さ」を生かせるかは、その人次第です。できれば、みんなが気づいたことを生かしてほしいです。

明後日は1学期中間テストです。今日、明日と放課後学習相談があります。先生方も皆さんが質問に来るのを待っています。分からないところをそのままにしておかないで質問しに行きましょう。これも自分から学んでいくことの一つです。

次に、二つ目の話です。特に3年生に申し訳なく思っている部活動についてです。今まで部活動が、中学校生活の楽しみや、やる気の大きな部分をしめてきたという人も多いと思いますが、既にお知らせしたとおり、全国中学校総合体育夏季大会の中止を受け、県大会、地区大会、郡市大会について、正式な大会は全て中止になりました。吹奏楽や合唱の大会も同じく中止になりました。ただし、運動部の交流大会は、昨日お知らせした通り、8月の始めに開催予定です。とは言え、これまで日々努力を積み重ねてきた生徒の皆さん、特に3年生にとっては受け入れがたいことでしょう。生徒の皆さんの命と安全を守ることを最優先に考え、このような決断をするに至りました。どうかご理解ください。

今まで、友や顧問の先生と流した汗や努力はいったいどうなるんだと、やり場のない思いを抱いているみなさんでしょう。そうした気持ちは十分わかります…と伝えても、当事者でなければわからない、言葉にならない切なさも感じます。やるからには、どの部活動もその技能の向上や勝敗にこだわることは勿論です。しかし、部活動を通して学ぶことはそれだけでなく、言葉にすれば、**信頼、忍耐、挑戦、向上心、協力、思いやり、寛容、自主性、主体性、礼儀、可能性、熱意、感謝、相手への敬意、…等々**もあるのではないのでしょうか。しかし、大会がなくなったことによる**成就感や達成感を得ることができないことへのやり場のない悔しさ、やりきれなさ**、もあることでしょう。つらいよね。そんな中、励ますことしかできないこと自体、申し訳なく思います。

～中略 全日本柔道チーム監督の井上康生さん、高知県明德義塾高校野球部監督の馬淵史郎さん、大町市出身のバドミントン選手の奥原望さんの言葉を紹介～



部活動が再開される明後日4日（水）には、きっと各部活動の顧問の先生方から、皆さんへのメッセージが直接伝えられることと思います。皆さんの一番身近にいる顧問の先生方からのメッセージや励ましが、皆さんの心に一番届くことは間違いないことだと思います。その言葉をみんなで受け止めて、前を向いて進んでいって欲しいと思います。

校長先生から最後に一言。「みんな、元気を出そう！」これからの生活や学習に**不安がある人は遠慮無く先生に相談しよう**。先生方は親身になって真剣に話を聞き、寄り添って一緒に考えてくれます。墨坂中の先生方は全員そういう先生方です。そして、そんな不安を少しでも吹き払うためにも、形からでも、空元気でもいいから、みなさん生徒と先生方、全員で墨坂中学校を盛り上げていこう。

そこで提案です。簡単なことです。マスクをして自分からあいさつです。「**3m先 自分から あいさつ**」先生や友だち、先輩、後輩、お客さんに廊下で会ったら、3m先で自分から「おはようございます。こんにちは。さようなら。」その元気が墨坂中を元気にしてくれるはずです。ぜひ、一人一人が「**3m先 自分から あいさつ**」、期待しています。

安全・安心な学校生活に向けて

【6月10日 避難訓練】 【6月12日 交通安全・防犯教室】



避難訓練では、消防署の方から「静かに移動ができ、先生方の指示をよく聞ける生徒の姿だった。机にもぐったときも、一切ざわつくことなく素晴らしかった。その際、頭を守るようにどの先生も適切な指示を出していた」と事後に講評をいただきました。

交通安全・防犯教室では、須坂警察署の警察官2名から、安全な歩行や自転車の乗り方が自他の身を守ることと、中学生が犯罪に巻き込まれやすいのでアンテナを高くして防犯に努めることを学びました。

いずれも命に関わる大事なことです。校長先生の話にあった「命に関わることには、100点か0点しかない」ということを念頭に置き、常に100点であり続ける墨坂中生であって欲しいと思います。

非違行為撲滅に努めます

本校は、非違行為0宣言校（HIT防止宣言校。H：非違行為防止 I：いじめ防止 T：体罰・パワハラ・セクハラ厳禁）です。毎月全職員で、「子どもと教師・学校を守る安全点検～わたしの心と行動チェック～」を行い、非違行為の撲滅に努めていきます。また、校内ルールとして、次の「墨坂中学校教職員生徒対応マニュアル」を職員で周知徹底していきます。

【学校ルール】

- (1) 児童・生徒と教室や研究室等で外から見えない状態で1対1にならない。相談等ではドアを開放したり、複数で相談に応じたりする。やむを得ない場合は校長等に連絡の上、指定された場所で行う。
- (2) 教室、研究室、その他諸室の管理等を適正に行う。
ドアの小窓などにポスター等の掲示物は貼らず、外から誰もが見えるようにする。
ドアの小窓の設置等が難しい室は、室管理者を教頭等管理職とし、随時、使用状況等を確認する。部屋を1人の教職員が管理しないよう鍵の複数化や職員室等での保管をする。
- (3) 生徒との私的な電話、メール、SNS等によるやり取りや校外での個別の指導はしない。
- (4) 児童・生徒の身体へは、安全確保等社会通念上認められるもの以外、接触しない。
- (5) 教育目的外はもちろん、教育目的でも不必要な児童・生徒の撮影や録画をしない。
- (6) 生徒を自分の車で送迎することはしない。
- (7) 教育目的外で児童・生徒に性に関することを話題にしたり、質問したりすることはしない。
- (8) わいせつ行為が疑われるときはもとより、室管理が不適正であったり、指導方法が不適切と感じたりするときは、躊躇することなく校長等に報告する。あるいは、校内相談窓口又は校外通報・相談窓口へ連絡をする。

【校外・通報相談窓口】

- ① 学校生活相談センター 電話番号：0120-0-78310「なやみいおう」（無料）24時間受付
メールアドレス：gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp
- ② 子ども支援センター〔月曜日～土曜日 10：00～18：00（日曜日・祝日・年末年始は休み）〕
子ども専用ダイヤル：0800-800-8035（無料） 大人用ダイヤル：026-225-9330